

1. 略歴

1983年3月	東京大学文学部第1類哲学専修課程卒業
1986年3月	東京大学大学院人文科学研究科哲学専門課程修士課程修了
1988年3月	東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士課程退学
1988年4月	東京大学文学部助手
1992年4月	立命館大学文学部助教授
2001年4月	立命館大学文学部教授
2003年4月	東京大学大学院人文社会系研究科助教授
2007年4月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
2009年9月	東京大学より博士（文学）の学位を取得
2010年4月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

ドイツ現代哲学、ケアの哲学

b 研究課題

ドイツ現代哲学のなかでも、とりわけフッサール、デールタイ、ハイデガー等によって展開された現象学・解釈学に関する歴史的・体系的研究を行っている。これまで積み重ねてきたフッサール研究については、1冊の書物にまとめたものを、2009年11月に公にした。また以上の文献的研究と並行して、現象学的哲学の今後の展開の可能性のひとつとして、「看護」を中心とする「ケア」の営みを現象学の視点から基礎づけ解明する試みも行っている。

c 主要業績

(1) 論文

Tetsuya Sakakibara, "Reflection Upon the Living Present and the Primal Consciousness in Husserl's Phenomenology," in: Dieter Lohmar and Ichiro Yamaguchi (eds.), *On Time - New Contributions to the Husserlian Phenomenology of Time*, Phaenomenologica 197, pp. 251-271, 2010

Тетсуя САКАКИБАРА [Tetsuya Sakakibara], "Переживание болезни и феноменология медицинского ухода за больными" [The Experience of Illness and the Phenomenology of Nursing], *Ежегодник по феноменологической философии [Annual for phenomenological philosophy]*, вып. 2, pp. 87-99, 2010.11

Tetsuya Sakakibara, "Phenomenology in a different voice: Husserl and Nishida in the 1930s," in* Carlo Ierna, Hanne Jacobs, and Filip Mattens (eds.), *Philosophy, Phenomenology, Sciences. Essays in Commemoration of Edmund Husserl*, Phaenomenologica 200, pp. 679-694, 2010.12

榊原哲也、「現象学的看護研究とその方法——新たな研究の可能性に向けて」、『看護研究』、第44巻第1号、5-16頁、2011.2

榊原哲也、「育むということ——現象学的哲学の視点から——」、『文化看護学会誌』、第3巻第1号、50-53頁、2011.3

榊原哲也、「西田とハイデガーにおける「私」と「汝」」、『立命館文学』第625号、55-65頁、2012.2

榊原哲也、「「生きる意味」を支えるもの——「自殺に傾く人」へのケアについての現象学的考察——」、『論集』第30号、東京大学大学院人文社会系研究科哲学研究室、34-47頁、2012.3

(2) 学会発表

国内、榊原哲也、「「生きる意味」を支えるもの」、第34回日本自殺予防学会総会 シンポジウムⅢ「減らない自殺——社会・文化的な視点から考える」提題、大妻女子大学千代田キャンパス、2010.9.11

国際、Tetsuya Sakakibara, "A Phenomenological Study on Caring for People with Suicidal Inclinations," The 4th International Conference of PEACE (Phenomenology for East Asian Circle), Institute of Philosophy, National Sun Yat-Sen University (國立中山大學哲學研究所), Kaohsiung, Taiwan, 2010.12.11

国際、Tetsuya Sakakibara, "Phenomenological Research of Nursing and Its Method," Phenomenology as Bridge between Asia and the West Conference "Phenomenology and the Other Disciplines," Saint Louis University, Saint Louis, USA, 2011.5.24

国際、Tetsuya Sakakibara, “Ich und Du bei Nishida und Heidegger,” Heidegger-Nishida-Symposium 2011
„Zwischen Heidegger und Nishida“, Schloss Meßkirch, Meßkirch, Deutschland, 2011.9.10

(3) 会議主催 (チェア他)

国内、「日本現象学会第33回研究大会」、チェア、シンポジウム「ケアの現象学」、立命館大学、2011.11.5～2011.11.6

国際、The 6th BESETO Conference of Philosophy、主催、東京大学 (本郷キャンパス)、2012. 1.7～2012.1.8

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

立命館大学大学院応用人間科学研究科客員教授、2010.4～2010.9, 2011.4～2011.9

日本赤十字看護大学非常勤講師、2010.4～2012.3

事業協力、日本ホスピス緩和ケア研究振興財団による平成 22 年度事業助成「対応困難なスピリチュアルペインの事例検討集の作成事業」エキスパートパネルへの参加、2010.11.3

特別講演、京都府立医科大学医学部看護学科、「現象学的看護研究・入門」、2011.8.22

講義、NHK文化センター柏教室、「現象学という哲学は死生をどう見るのか」、2011. 12.2

特別講演、第4回日本不安障害学会学術大会 (於早稲田大学国際会議場)、「不安・抑うつ時の臨床哲学——現象学の視点から」、2012.2.5

(2) 学会

哲学会理事 2010.4～2012.3

日本哲学会事務局幹事 2010.4～2011.5

日本哲学会評議員 2011.6～2012.3

日本現象学会委員 2010.4～2012.3

実存思想協会理事 2010.4～2012.3

実存思想協会幹事長・事務局長 2011.10～2012.3